

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	712 議会運営一般経費	会計	01	一般会計
		款	01	議会費
		項	01	議会費
		目	01	議会費
基本 施策	99 対象外	細目	101	議会運営費
		細々目	01	議会運営一般経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード 370100	担当者 氏名	福岡秀明	連絡先 22 - 9687 (内線) 3101
	名称 議会事務局			

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	1. 市民 2. 議会及び議会議員	※対象件数
成果(どうする)	1. 議会情報を積極的に発信し、議会及び市政に対する理解と関心を高める。 2. 適性かつ効率的な議会運営を行う。	
根拠法令・要綱等	地方自治法	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
事業内容	H21 1. 年4回の定例会・臨時会の運営 9. 出前講座 2. 4常任委員会の運営 10. 議員研修会の開催 3. 随時開催の議会運営委員会の運営 11. 議会図書室の整備 4. 随時開催の全懇、全協の運営 5. これら会議の会議録作成 6. 年4回の議会たよりの発行 7. 議会報告会の開催 8. 政策討論会	
社会情勢 の変化等	議会基本条例の制定により、議会報告会、議員研修会の開催等を新たに実施することとなった。 議会基本条例に関する行政視察対応業務が激増した。	

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
3	定例会、臨時会	回	目標 9 実績 10	目標 6 実績 10	5	5
	常任、議会運営、特別委員会	回	目標 50 実績 65	目標 50 実績 68	45	45

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
3	議員研修会の開催	議員の政策形成及び立案能力の向上等を図る	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
	議会報告会の開催	市民との情報交換を積極的に行う	回	目標 38 実績 38	目標 38 実績 36	38	38

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	9,694	11,077	11,355	11,355				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	179	85	196	105				
一般財源	9,515	10,992	11,159	10,688				
事業投入人件費(B)	3.0人 21,600	3.0人 21,600	3.0人 21,600	3.0人 21,600				
フルコスト(A)+(B)	31,294	32,677	32,955	32,955				

### 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	自治基本条例・議会基本条例
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
二元代表制の一翼を担う議会としての根本的な目的			
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業			
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
予算の繰越の有無	無	議会報告会を自治協に開催依頼したが、先方の都合で2自治協が実施できなかった	
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】			
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
【事業名】			
基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。			
受益者負担を求めることができる事業である。			
全体コストにおける負担構成は適正である。			
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。			

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	議会基本条例の制定に伴う議会報告会の開催、議員研修等事業の増加や、会議の増大による委託料の増加等が考えられるが、できるだけ効率的な議会運営に努める。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	議会報告会においては、市民への情報提供と意見交換を積極的に行うことができた

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	森本勝美
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	議会基本条例の目指す、市民に開かれた議会、市民参加を推進するため。
現時点における課題、その他	議会報告会の運営方法
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	毎報告会終了後、班長会で運営方法を検討していく。